

# NYで被災地写真展

## 復興の歩み・厳しさ伝える



元岡山日日記者  
総社の河田さん

東日本大震災から1年が過ぎたこの3月、被災地の姿を伝える写真展を米ニューヨークで開いた日本人がいる。総社市在住の国際フォトジャーナリスト、河田雅史さん(42)。伝えなかったのは、復興へ立ち上がる歩みの確かさ。そして、厳しさ。同じ内容の写真展を12日から津山市で開く。

### 12日から津山でも

破壊され尽くした被災地を、電気自動車が静かに走る。そんな1枚の写真が昨年5月、ニューヨーク・タイムズ紙に掲載された。

震災発生直後の3月下旬に訪れた岩手県大槌町。がれきが一面に広がり、観光船が民宿に乗り上げる惨状の中を、医師の移動手段として総社市から派遣された電気自動車が走り抜けていった。

「ガソリンもない被災地で、小さな電気自動車が人々を救うために走っている」。自然の猛威と、立ち上がるうとする人間の技術力を対比させた1枚は、写真を提供された総社市から三菱自動車、そしてNYタイムズへと渡ったという。写真は今3月6、10日、震災から1年を迎えるのを機に河田さんがニューヨークで開いた写真展でも展示された。

電気自動車の写真と一緒に、今年2月に同じ場所を再び訪れて撮った写真も展示した。観光船は撤去されたものの、広大な更地が広がっていた。

「復興が少しずつ進む姿と、それでも元の姿とはほど遠い厳しい現実と。両方のメッセージを、あの写真を掲載してくれたニューヨークから発信したかった」

ほかにも、震災直後と最近の写真とを対比させる組み写真を展示した。高台の小学校で学ぶ子どもたちの笑顔や、プレハブで再建された商店街で働く人々の生き生きとした表情も。

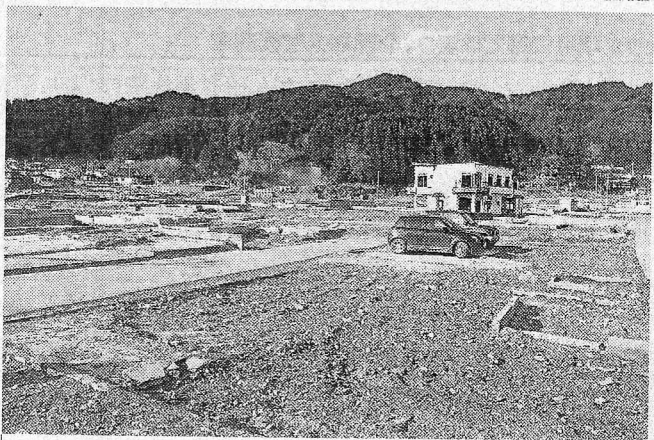
米国在住の日本人も多く訪れ、じっと立ちつくしては写真を見つめたという。

「テレビの映像はどんどん流れていくけれど、意味のある瞬間を記録し、心に刻みつけられるのが写真」と河田さんは言う。

昨秋廃刊になった夕刊紙「岡山日日新聞」の元記者。県内での取材活動の傍ら、阪神大震災やニューヨークの同時多発テロの現場へ赴き、フォトジャーナリストとして活動してきた。訪れた国は54を数える。

「ニュースのある場所に入り、伝える。岡日の記者でも、そうでなくても、やることは変わらない」

今後はロンドン五輪の取材などを予定する。ニューヨークと同じ内容の写真展の国内第1号が、4月12、22日に津山市田町の城西浪漫館(08688・22・8688)で開かれる。(柏崎 敏)



① がれきが広がる被災地を走る電気自動車 2011年3月26日  
② 再度被災地に入って撮影した同じ場所の写真 2012年2月9日  
いずれも岩手県大槌町、河田雅史さん撮影

東日本大震災から1年...

# 世界へ伝える復興の歩み

被災地の様子や子どもたちの笑顔！

写真約40点を紹介



## いのちの絆

～河田雅史写真展

4月12日(木)～4月22日(日)

入場無料

## ニューヨークでも大反響 広げよう支援の輪



多くの在米邦人やニューヨーク市民でにぎわう会場



国際フォト  
ジャーナリスト

河田雅史さん



ユネスコ平和芸術家

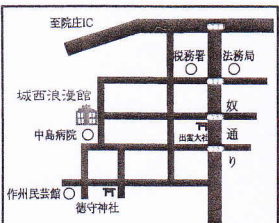
城之内ミサさん

■オープニングセレモニーライブ■

### 復興を願いピアノ演奏

4月12日 13:00開演

チケット(1,500円) 予約受付中



※ JR 津山駅からごんごバス小循環線  
「中島病院前」から徒歩0分

会場



国登録有形文化財 大正6年(1917)築  
**城西浪漫館** 2階展示室  
Josai Romance Hall

開館 AM9:00～PM5:00

月曜日休館(祝日の場合は翌日)

0868-22-8688

館内併設喫茶室

**So's Cafe**

ドリンク(17種) 全300

パスタ3種 各¥600

ピラフ3種 各¥550

※セット(スープ+ドリンク付)+200円

営業時間

AM 8:30～PM 4:00

日曜日・休日も営業

展示会の鑑賞後に  
温かい飲み物をどうぞ